



2年4組
越川敬子さん

※行書なので字の配置や大きさがむずかしかったです。少しひらがなが大きめになってしまいました。

仲間と 歌う

越川敬子



3年4組
緒方和美さん

※名前を書くのに字が大きすぎて、はいらなくなっていました。

自然科学

緒方和美

自然科学

和田愛



3年2組
和田愛さん
※然という字が難しかったです。

東風 清泉

椎名彩子



3年5組
椎名彩子さん
※風の字が難しく、はねる所がよくできませんでした。

ひかり歌壇

彼岸時化菜種梅雨とや降り続き
椎茸の傘満開となる

大木静波子(篠本二区)

生活の二こまを掬ひ上げて下句で
美事に決まりました

三年間通ひ慣れたる保育園
卒園の歌に孫は涙す

伊藤 定男(尾垂五区)

敏感な園児の感性を見守る優しい
祖父の思ひが盛られた作品

共々に食後の菓飲みており
旅の宿りに睦み親しき

伊藤 鏡子 (虫生)

誰もが持参の菓を飲み乍らも年配
者の旅の宿は楽しい交流の場

今生に云ひ遺したき在りにけむ
黙して夫は先発ちにけり

竹内 紀葉 (篠原)

永別の日を経るにつれて種々の思
ひは募るばかりの心境

「短評」 竹内 紀葉